

学費が高すぎる!

何とかならない?

ぜひ署名にご協力を!

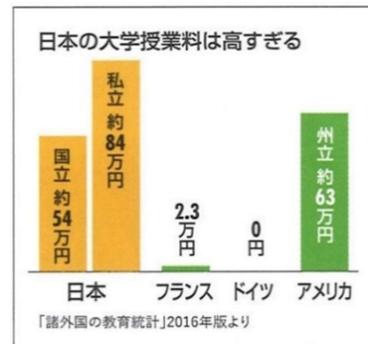
世界一高い学費を値下げし
返済不要の奨学金の拡大を

学費

共産党の提案

学費は半額に

日本の高等教育予算は先進国平均の半分以下(対GDP比で0.5%)です。先進国平均並み(1.2%)に引き上げれば、私学を含め、授業料を半減にでき、さらに70万人(奨学金利用者の約半数)に月3万円を支給する給付型奨学金が実現できます。



給付制奨学金

必要な学生に届く制度に

70万人に月3万円を

政府対象は全学生の2%——先進国では30%に給付

2018年度から、返済不要の奨学金がスタートしました。しかし、受け取れる人は限られ、定数も1学年あたり2万人で、全大学生に占める比率はわずか2%程度です。必要とする大学生が利用できる制度とするために、みんなで力をあわせましょう。先進国では3割程度の大学生が給付型奨学金を利用しています。必要としている大学生に届く制度にするため、規模の拡大がどうしても必要です。

国名	給付額(年)	給付者数と率
アメリカ	428万円	約820万人(35%)
ドイツ	最大732万円	約67万人(27%)
フランス	最大48万円	約47万人(35%)
韓国	最大55.8万円	約130万人(36%)

世界で若者の声が、政治を動かしています。
みんなで声を上げ、学費の値下げを!

署名の呼びかけは

日本共産党伊藤岳事務所 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 (日本共産党埼玉県委員会内)

Tel.048-658-5551 Fax048-658-5656

公式サイト・ito-gaku.jp



取り扱い団体 ()

大学学費負担軽減と給付制奨学金の拡大を求める署名

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

〔請願趣旨〕

今年から、日本でも返済不要の奨学金がスタートしました。しかし、受け取れる人は学年あたり2万人と限定され、全大学生に占める割合はわずか2%程度と、圧倒的な大学生は利用できません。

先進国では、もともと大学学費が安いうえ、3割程度の大学生がさらに給付型奨学金を受けています。しかし、日本の高等教育予算は先進国の半分以下で、その結果、高い大学学費と「教育ローン」と化した奨学金が若者に「進学をあきらめるか、バイト・借金で進学するか」という究極の選択を押しつけています。

日本の高等教育予算を先進国並みに引き上げれば、世界でも異常に高い大学学費の半減と、現在奨学金を利用している人の約半数の70万人に月3万円を支給する給付型奨学金を実現することができます。また、貸与制奨学金の無利子切り替えや、若者の生活を追いつめないような返済方法の改善も急務です。何より、大学学費の値下げにふみだし、半額程度に引き下げるべきです。

よって以下の項目を請願します。

〔請願項目〕

- 1、高い大学学費の値下げにふみだし、半額程度に引き下げる
- 2、少なくとも月3万円、70万人規模の給付制奨学金を創設すること
- 3、有利子奨学金を無利子に切りかえること。所得連動型返済制度の創設や減免制度の拡充、延滞金や保証人・保証料の廃止など、若者の生活を追いつめないよう返済方法を改善すること

氏名	住所

〔取り扱い団体〕